

留学先大学： ヴェネツィア大学留学先での所属学部・研究科： Umanistico(人文学研究科)留学先での在籍身分： studente di scambio(交換留学生)留学期間： 2013 年 9 月～ 2014 年 6 月神戸大学での所属学部・研究科： 人文学研究科学年（出発時）： M2本報告書記入日： 2014 年 6 月 26 日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。
1	LETTERATURA ITALIANA MOD.1	TIZIANO ZANATO	4.5	6	20	
2	LETTERATURA ITALIANA XII-XVI-B	BETTINZOLI ATILIO	4.5	6	40	
3	LETTERATURA ITALIANA XII-XVI-A	DAMIANI ROLANDO	4.5	6	40	
4	LETTERATURA ITALIANA. XVII-XIX	MILISOLA BENIANIMO	4.5	6	40	
5	LETTERATURA ITALIANA.SP1	TIZIANO ZANATO	1.5	6	100	
6	LETTERATURA ITALIANA	DRUSI RICCARDO	4.5	6	40	
7	STORIA DELLA REPUBBLICA DI VENEZIA	CLAUDIO POVOLO	4.5	6	40	
8	STORIA ROMANA	CRESCI GIOVANELLA	4.5	6	30	
9	STORIA DELLA LINGUA ITALIANA	FORNASIERO SERENA	4.5	6	50	
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

基本的に少人数の教室での授業が多く、授業中に居眠りをしている生徒もほとんどいない。成績の評価は方法はオーラルによるテスト形式が多い。筆記形式ものがあるが、そちらよりも口答試験のほうがいい成績が出る印象を受けた。

**費用について**

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： 0円(溜まっていたマイレージを使用したため)・住居費：(月額) 50,000円 × (留学期間) 10 ヶ月 = 500,000円・食費：(月額) 40,000円 × (留学期間) 10 ヶ月 = 400,000円・保険料： 110,000円・その他： 500,000円合計： 1,510,000円 (留学期間全体の費用)

## その他 自由に記入してください。（800字～）

この9か月の留学生活は、私の価値観や生活態度に対して大きな影響を与える素晴らしい体験となった。慣れ親しんだ土地を離れた生活は、些細な出来事でさえ新鮮に感じられた。

この留学生活の中で一番印象深かったのは、やはり生きた言葉に触れることができたことだろう。例えばスーパーでの買い物や携帯電話の契約に行ったとする。こういった場面でも教科書に載っているフレーズ通りのシチュエーションにはならず、知っている単語を並べて何とか意思疎通を図っていかなければならない。当たり前と言えども当たり前の話だが、生きた言葉に触れる貴重な体験だったように思う。

以前からイタリア語は勉強してきたが、黒板や教科書に書いてある言葉を読むのと実際に人が話しているのを聞くのでは勝手が大きく違った。授業でも話が聞き取れず、質問したいが言葉が出てこないということもあった。これはおそらく、日本人の多くが経験することだと思うし、人によっては自信を失くしてしまうこともあったようだ。私の場合は、イタリア人の友人や語学学校で知り合った人たちと授業が始まる前や終わった後に食事や勉強会をしていた。これは他の国出身の人でも同じような悩みを抱えている人がいたようで、そういった人たちと友好的な関係を築けるきっかけになり、不思議と同じ目的を持った仲間が集まってきた。ヨーロッパでは共通言語として英語を使う場合も多かったが、私は極力イタリア語で通していたので、自分の知らない言い回しや単語などを互いに教え合っ、まさに今のイタリアで使われているイタリア語に触れることができた。このことによって、言語を学ぶには耳と口を慣らすことが習得の一番の近道だと実感した。

授業でも、文化や価値観が違えば教え方も重要とされる部分も変わってくるのだと思い知った。例えばヴェネツィア大学の日本史の授業だ。日本ではサラリと流されてしまうことが多い部分でも、イタリアでは大きく扱ったり、その逆の事例も多くあった。こういったことに触れるのも新鮮であり、非常に有意義であった。

最後に、留学生活は今までの生活から切り離され、目につく物、触れる価値観、そのすべてが刺激的だった。同時に、自分がどれだけ周りの人々に支えられていたかを実感することができ、得た経験を次のステップへ続くものへとしていきたいと思う。